名物分会ファイル3

葛飾支部水元分会

分会レクはお任せ

大勢集めて盛大に開催

【葛飾・書記・沼美幸通信員】毎年、分会のレクリエーションに力を入れていた飯塚分会。2017年に分会再編で東水元分会と合併して水元分会となっても、分会レクへの意気込みは変わりません。分会内交流やイベントへの参加を呼びかけるために、上手に活用しています。

一番人を集めるのは、5月に行うBBQ。場所は組合員の方の作業場をお借りしています。分会内の交流はもちろんですが、この時期に開催する目的は住宅デーに向けての交流です。宣伝も兼ねて、分会の方を集めて盛大に行ないます。

合併後初の開催では、130人ほどが参加しました。分会組織人員の4分の1が参加する分会レクです。これだけの人数を集めて開催できる分会は他にありません。

当日は分会役員の方々が中心となって肉や焼きそばなどを振る舞います。最後には、盛大な抽選会が行なわれます。こちらのくじは、はずれなしです。参加者全員に何かが当たるようにしてあることが、人気の理由の1つです。景品は、花鉢から乾麺のそうめんやそば1箱、お菓子の詰め合わせなどさまざまです。1等にはオーブントースター2台を用意。当たった人は笑顔で持ち帰っていました。

BBQの他には、バスレクも開催。こちらは秋の拡大月間が終わる頃に開催し、拡大の慰労と新加入者の交流を兼ねて行なわれていました。2017年度のバスレクは、時期は変わりましたが開催しました。分会レクの活用も上手ですが、大勢が参加するレクを開催できる、葛飾支部でも有名な分会です。

最後に行なわれる抽選会は大盛況

永井分会長（右）と糸賀分会書記長

シニア・青年・主婦が総会開催

青年部

60年の歴史引き継ぐ

新部長に五本木さん（西多摩）

【本部・友成京介記】東京土建青年部は2月25日、第61回青年部定期大会をけんせつプラザ東京で開催し、30支部の代議員と来賓など93人が参加しました。

挨拶として岸部長が「ともに手をとりあって、働く青年が報われるよう青年部活動を推進しよう」と訴えました。

昨年度の総括、今年行なわれる青年部結成60周年記念事業を機に青年部活動推進を図る方針提起があり、大会議案を補強する形で北、目黒、府中国立、清瀬久留米から活動経験報告がありました。

午後から7つの分散会で討議を行なった後、議案やスローガンを拍手で承認、最後に五本木新部長が「60年の歴史を築いた先輩達のバトンを引き継ぎ、全都の仲間と働く青年が主人公の社会をつくろう」と挨拶し閉会しました。

新年度役員は次のみなさんです。部長・五本木宏晃（西多摩）。副部長・小澤巧（村山大和）。書記長・栄大翔（調布）。書記次長・三宅修平（杉並）。

挨拶をする五本木新青年部長

シニア

改憲反対の先頭に

新会長は加藤さん（渋谷）

【本部・中村哲郎記】第17回本部シニア友の会総会が、2月28日にけんせつプラザ東京で35支部109人の参加で開催されました。

伊藤真さんを講師に「今こそ憲法を守ろう！」の講演を受け、基調報告・方針提案では、①仲間を孤独にしない交流活動、②組合運動と技術・技能の継承活動推進、③地域高齢期運動の促進、④新役員体制、⑤特別決議として「9条改憲NO！3千万署名」の運動の先頭に立つことを確認しました。

伊藤先生の講演に集中するシニアの皆さん

支部経験報告では、葛飾、港、西東京の3支部から報告がありました。懇親会では、民謡を聴き、歌い、大いに懇親を深めました。

新年度の役員体制には、次の皆さんが選出されました（敬称略）。

会長・加藤行夫（渋谷）。副会長・豊田隆（台東）、緑川明（北）、北川静夫（港）、市村政男（三鷹武蔵野）、小山隆一（府中国立）、小黒博行（目野）、山岸敦志（小平東村山）。事務局長・阿部章二（江戸川）。

主婦の会

個が輝ける時代に

自主的な活動を進めよう

【多摩西部・主婦・藤巻智子記】2月17日にけんせつプラザ東京にて第52回主婦の会総会が行なわれ、総勢222人が参加しました。

情勢基調報告のあと、来賓あいさつでは、同じような志を持つ他の団体の方の意見を聞くこともできました。また、白滝書記長の「憲法を変える必要はない！憲法を現実社会に活かすことこそ大切」をテーマにした学習会では、憲法改悪しようとしている現在の政権のありかたを学び、改憲することにみんなで反対を訴え、9条を守るべきと思いました。

午後から各専門部の活動報告と、来年度の方針の発表がありました。組織は、建設労働者の仕事とくらしを守るために組合と一緒に家族ぐるみの運動に取り組む、等の方針。平和家族・女性からは、「主婦の会9条の会」の活動をより一層進める、組合と共に震災支援や防災活動を広める、女性・主婦独自の要求に基づいて自主的活動を進める、などの報告がありました。

また、教宣からは、本・支部機関紙の定期発行と支部・分会新聞編集体制の強化、学習会の開催の方針のほか、分会機関紙の発行や機関紙コンクールについての提案がありました。

スローガンの「一人ひとりが輝ける時代にむけて」を、支部に大切に持ち帰り、私たちならではの活動を考え、取り組んでいきたいと思います。

総会運営委員と保育士にねぎらいの拍手

加入率低い賃貸住宅

火災・地震共済に加入を

【どけん共済会発】昨年取り組んだアンケートでは、持ち家の仲間の火災共済の加入率は高い反面、賃貸住宅居住の仲間の火災保障はない、または自身の保障内容を把握していない状況でした。また火災共済加入の仲間の地震共済付帯率は8・1％に留まっており、民間損保の全国平均60％を大きく下回っています。

火災も地震も住宅再建や生活再建に備えた保障の準備が必要です。ご自身の加入はもちろんのこと、身の回りの仲間にも呼びかけて、「助け合い」の共済を一回りも二回りも広げていきましょう。

火災・地震・自転車の3制度同時加入でプレゼント対象となる「生活まるごと安心パック」は、3月中（4月1日発効）が加入期限となります。

個人プランの新設でより加入しやすくなった自転車保険と合わせて加入しましょう。